

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 令和4年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/13 大般若大施食会法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- 4/1~4/3 龍源寺天井絵展
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区盂蘭盆会
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10月 檀信徒研修旅行
- ※11月 先々住三回忌、寺族七回忌
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週土曜日 華道教室
- ※毎月最終土曜日 ヨガ教室
- ※は、本寺仁叟寺様にて修行

お焚き上げ場に墓参で出たゴミを捨てることはご遠慮くださいますようお願い致します

## 龍源寺東堂 仁叟寺住職 ~大本山總持寺監院就任~ 当山住職 仁叟寺住職代行に

師匠であり父である仁叟寺渡辺啓司住職の大本山總持寺監院就任に伴い、当山住職が仁叟寺の住職代行として任に当たることとなりました。既に半年が経過し、檀信徒はじめ多くの関係各位にお世話になり、龍源寺及び仁叟寺両寺の山務をつとめさせていただいております。

檀信徒の皆様方には、総代会及び役員会を経て、文書にてお知らせをご通知いたしました。なお、葬儀や法事等の法務につきましては、今まで同様におつとめさせていただいております。

しかしながら、お盆と年賀につきましては、下記のとおり変更となりますこと、ご了解ください。

引き続き、宜しくお願い申し上げます。

【8月盂蘭盆会の盆迎え / 1月年始の年賀受】

日時の変更はありませんが、住職はそれぞれ8月12日、1月2日に龍源寺に在します。

## 筑井孝子龍源寺天井絵展開催



**龍源寺**  
迫力の竜や花、天井画に前橋の筑井さん描く

高崎 前橋市の画家、筑井孝子さんが約一年半かけて完成させた「高崎」のお披露目が1日、高前になんで竜をモチーフとした。迫力ある竜や花々(渡辺龍道住職)で始まった。迫力ある竜や花々などを描いた絵が天井に広がり、来賓の関心を集めている。写真。3日やボタン、アジサイなどを描き、周囲にクチナシの木々や花を表現している。

龍源寺 渡辺住職が花鳥風月を基調とした天井画の制作を依頼し、筑井さんが描きつづける。アケハチウ、カタツムリ、カマキリなども鮮やかに写し取っている。筑井さんはデザイン性と面立しつつ、動植物の生態に裏付けられた描写を心掛けた。ぜひ足を運んでほしいと話している。

お披露目は今年で2回目。午前10時〜午後5時期間中は筑井さんから作品解説を受けられる。(村山拓実)

本年も桜の咲く時期に開催いたしました。筑井孝子先生、有難うございました。  
⑤上毛新聞記事(四月二日)

## 仁叟寺住職 大本山總持寺監院として



師走と新年の風景

師走に入り拱心が終わると、新春の準備であわただしくなる本山。歳末助け合い託鉢、塚払いにはじまり、年の瀬には平野歳暮年納めのお勤めが営まれました。二十八日には境内各所へお供えするための餅つきを行い、二十日は一年間の修行の無事を感謝して大祖堂で土地念誦、香積台で庫堂調經を修し、柴祭台で行茶を営みました。大晦日は大祖堂で年内最後の行持となる経を営み、午後十一時四十五分からの大梵鐘の撞き初め(写眞)で、令和四年が幕を開けました。石附周行禪師さまご就任後初めてのお正月を迎え、大祖堂では御親修による元朝大祈禱を厳修。無病息災、家内安全、心願成就を願うたくさんの人びとが初詣に訪れました。



節分会追儺式を山内で厳修

節分会追儺式を二月三日に営みました。例年なら二千人の人々が本山の節分ですが、今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、福男福女の人々やご祈禱を申し込まれた方々には不参加の形で執り行いました。今回ご祈禱では協賛八十社、福男二十八人、福女十二人の皆さまのお礼が内陣(須弥壇)に飾られました。石附周行禪師さまの御親修、山内留侶のみで執り行った大祈禱法要では、諸災消除、身体健全、社運隆昌など、皆さまの心願成就をお祈りいたしました。

仁叟寺住職が、昨年10月に大本山總持寺監院を拝命し、早いもので半年近く経過いたしました。

仁叟寺では、住職不在の中、副住職・寺族を中心に総代人始め世話人役員、檀信徒の皆様と共に、年末年始や大節分会等の恒例伝統行事をおつとめさせていただきました。ご協力いただきました檀信徒各位に、改めて御礼を申し上げます。

仁叟寺住職は、大本山總持寺に於いて、大本山總持寺貫首石附周行大禪師猥下を補佐され、修行僧と共に日夜精進されています。コロナ禍の中、本山では充分に対策を施し、除夜会や節分会、涅槃会等多くの行事を指揮され、本山の護持運営につとめております。

日日の行事は勿論の事、鶴見大学はじめとする学校法人、保育園や母子寮等の社会福祉法人の理事長としての任も受け、運営にも当たっております。

大本山様での行事風景とともに茲にご報告いたします。合掌

## 当山環境整備ボランティアを募集します

仁叟寺住職の大本山總持寺監院拝命を受け、当山住職が仁叟寺住職代行を兼ね、ほぼ仁叟寺に在しております。葬儀や法事等の法務に関しましては、今までとおりに行わせていただいております。

しかしながら、境内の環境整備に関しましては、住職がこれまでと同じような作務(清掃)の時間を作ることが不可能となりました。山を背負い、墓地、境内地、駐車場など広い土地の環境保全は単独では厳しいものがあります。つきましては、菩提寺の環境美化の為、ご協力いただける檀信徒のボランティアを募りたく、茲にお願い申し上げます。

内容は境内の清掃、草刈り、庭木の手入などとなり、季節により変わりますが月2、3回ほどお手伝いいただければ幸いです。ご協力いただける場合は、僅かではありますが、寸志をご用意いたします。ご賛同くださる方は、当寺もしくは住職までご連絡をください。

また当山は、総代役員及び有志者での夏冬のおてんま作業のほか、神部住宅サービス様、加藤壯士様に境内地等の環境整備作業を依頼しております。引き続き宜しくお願い申し上げます。



山門より望む龍源寺本堂

## 仁叟寺除夜会、大節分会等のご報告



上毛新聞記事（2月4日付）

昨年の仁叟寺除夜会は、コロナ禍の状況を鑑み、令和2年除夜会と同様に、総代人各位のご協力を賜り、規模を縮小した上で、しっかりと感染症予防対策を施し、伝統の行事を執り行いました。

同じく本年の大節分会は、信永院住職、慈恩寺住職、向陽寺住職のご法助を賜り、総代人及び世話人各位のお手伝いをいただき、無事圓成することが出来ました。ありがとうございました。本年も「豆まき」は行わず、見えられた方全員に、福豆と福餅のセットを配布する「豆配り」をいたしました。

文殊堂での節分会祈禱では、施主の祈願は勿論のこと、来年は、コロナが収束し、例年通りの賑やかな節分会、豆撒きを行うことが出来ますように、祈念いたしました。



大節分会御祈禱風景

## 龍源寺境内地及び墓地の人災被害について

令和2年1月より、当山境内地及び墓地人災による被害の原状回復等を求め、多野造園土木株式会社及び同社田中広幸代表、土地所有者羽切吉胤氏らを被告として裁判になりました。遺憾乍ら当初の約束を反故にされた上で、係争となった訳であります。既に2年以上が経過しました。

檀家総代人、墓地被災者、土地所有被災者等に詳細を報告をし、慰霊法要とともに代理人高橋勉弁護士を迎えた説明会も既に11回に亘り開催いたしました。

詳細につきましても、寺報等でお知らせしているとおりでありますが、被災原因について土木工学に基づいた専門家による調査報告資料も、昨年夏に提出しております。被告側は本年3月に、前橋市・藤和航測株式会社による測量調査を反論として提出。専門家ではなく測量会社による調査、かつまた同時期に起きた富岡市内匠地区での土砂災害が、当山と地形が似ていることから自然災害であると導く非科学的な検証を時間をかけて報告いたしました。このような科学、学問を蔑ろにするような資料を貴重な時間を徒らに使い主張する事、ただただ残念でなりません。もちろん、反論も土木工学の専門家より直ぐに提出をいたしました。

個人的には昨年7月の静岡県熱海市での悲惨な人災が、極めて相似しているものと考えます。無駄な時間を費やすことなく、早期の解決、原状の回復のため、出来ることをしっかりと精進させていただきます事、茲にご報告申し上げます。



龍源寺本堂での説明会の様子

## 令和3年度 寄進者一覧 (順不同、敬称略)

番号	地域	ご芳名	ご寄進物
1	吉井	木村電気商会	檀信徒会館照明LED化工事一式
2	多比良	鈴木 伸代	木製足踏式除菌消毒台
3	東京	松尾 篤憲	納経用経筒
4	前橋	筑井 孝子	龍源寺クリアファイル等多数
5	東京	窪田 広	大施食会蚕影山例祭供米料
6	高崎	佐藤 春生	本堂用瓜型大燈籠一對
7	松田	白田 幹男	新米1俵
8	矢田	木村 照夫	新米1俵
9	松田	渡辺 和孝	杉林伐採作業
10	神保	仁叟寺	緋恩衣祝賀
11	神保	仁叟寺	紹緋恩衣、羽二重緋恩衣
12	神保	仁叟寺	金襴袈裟、帽子、坐具
13	神保	仁叟寺	駐車場整備工事一式

この度のご寄進 誠にありがとうございました 合掌

## 行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

昨秋に仁叟寺住職が大本山總持寺監院として上山され、早半年が経過いたしました。その間、住職地の龍源寺と共に歴史ある仁叟寺を護らせて参りました。大変な場面も多々ありますが、龍源寺出牛均総代長、仁叟寺矢島正義総代長を中心とした総代人の皆様、檀信徒の皆様、縁に繋がる方々のお力添えを賜り、伝統の行事を感染症予防対策を施した上でしっかりと行じ、何とか無事につとめを果たさせていただいております。引き続き、宜しくお願い申し上げます。

コロナ禍も然りですが、ロシアによるウクライナ侵攻等、世界情勢も目まぐるしく変化し、我々の生活にも影響を及ぼしております。宗門も賛同し、強く取り組む「SDGs」～持続可能な17の開発目標～の実践を心掛け、精進をして参りたく思っております。合掌

